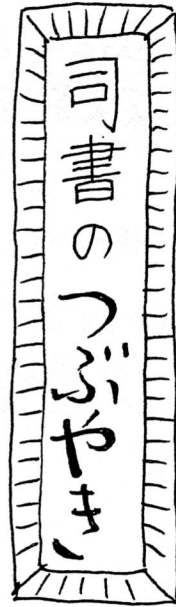


おこい図書館

No.86

発行
代表
青木 和子
松本市牧の原1-104
TEL 047-311-0886
416



吉原 里絵

私は五香在住の、私立高の学校司書として勤める会員です。「おこい図書館」に入会して5年になります。司書としての考えを文章にしたことはありませんでした。今年3月、5年間勤務した学校を辞めさせられました。幸運にも4月から別の私立高で働けることになり、「自信がなくて仕事について話せない」と悠長に言っていたら司書の仕事は務まらない、と考え直し、この文章を書くことにしました。

去る5月11日の浦安市立図書館

見学の際、常世田館長が、児童書と一般書の選書およびサービスについて、「成人は経験を重ねて本を選択できる目を持つため、できる限り要求を満たすように資料提供の態勢を作る。しかし、児童サービ

スは、長く親しまれた定評のある本を、大人が責任をもって手渡す。読まれるところまで届ける必要がある」という主旨のことを話しておられました。私は、学校図書館の利用者である中高生への選書を表現するつもりならどうなるのか、考えてしまいました。

幼児、児童である時期に、豊かな読書、図書館を経験した中

高生であれば、成人同様の一般向けのサービスへの移行は、難しくないのでかもしれません。けれど、私が学校司書として出会った生徒たちは、大半が読書する術を持たず、しかし、それなりに知識・経験を持ち、価値観や自己を確立しつつある年齢となり、その分、偏りや思い込みが強くなる一方で、驚くほど素直で無防備な面も持ち合わせています。

具体的に思い出す出来事があります。前任校での一人の男子高生のことです。彼は、卒業追試を控え、図書館で待機していたのですが、突然目を輝かせて、「死んでからも人の役に立つって、いいよね。オレ、ドナーになる。」と宣言しました。追試の課題で、脳死に関する記事を読み意見を記述するというものがあり、実例で紹介されていた、「事故死した女子高生のドナー登録」に感動したよう

のです。彼には、臓器提供の関係機関への連絡先を調べる一方、未成年者は保護者の承諾が絶対必要だから、家族と充分話し合うように言いました。後日、担当した教諭に聞くと、課題の中では、「悲しみの中、判断をせまられた家族の苦しい心境」「脳死判定への疑問」「救急医療への批判」なども記されていたのですが、彼が受け取ったのは、善意だけだったようです。屈折していない素直さが羨しい反面、外見ほど成長していない精神の未熟さを感じました。

学校図書館の目的として、「教育課程への寄与」が挙げられますが、そこには、様々なレベルの読書力を持つ個人である生徒が集まる状況に、どう対応できるのか、選書を含めて取り組まなければならぬ、と、考えます。



松戸市の図書館が粗末なのは

「なんでだろう?。」

武笠 紀子 市議

江東区の東陽図書館を見学しました。東陽町駅から歩いて5分ほどのビジネス街の中にあり教育センターと併設されていました。

一階のワンフロアで、玄関を入って正面に貸し出しなどのカウンターがあり、右手は子供用図書スペース、左手はずっと広くて一般の図書と雑誌・新聞資料等の閲覧スペース。子ども用には20席、一般用には50席ほどの閲覧席が独立して設置されており、書架の間にも座れる場所があり、ゆっくりできます。

広さは県立西部図書館ほどあ

り、本も多く、検索・予約用のコンピュータが3台と、苦手な人にタッチ式の検索機が一台ありました。

ほぼ開架図書で、閉架書庫は小規模なものでした。

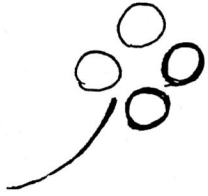
松戸の図書館を利用してゐる私の常識では、「ここが本館で、あといくつか分館があります」と言われても納得してしまいうででした。しかし、人口40万という江東区に川の図書館があり、江東図書館というもっと機能の充実した図書館もあり、東陽図書館は大きいほうだが、区内の図書館の一つにすぎないと聞いて驚きました。

松戸には、市立図書館本館が一つと、分館が19あります。それとは別に県立図書館一つあります。私がよく利用する小金分館は、分館としては大きい方ですが、単なる「分室」だという事がよくわかりました。「図書館」に行つて

来る」と言うには、少し取ずかし
い。松戸の図書館がお粗末である
とは多くの市民の一致した感想で
すが、近隣の図書館と比べても、
47万都市にふさわしいとは言えま
せん。

総合計画の中央図書館構想は、
先延ばしになっていきます。「図書
館を利用する人だけが市民じゃな
い」と講会で答えた人がいました
が、この際、誰もが利用したくな
る図書館を目指して、多方面の市
民の参加による「図書館検討委員
会」等を設置し、長期的には新図
書館の建設を、そして、短期的に
は、今すぐできる改善を考えてみ
る必要があると思います。

「おいしい図書館」がんばれ***



平成15年度予算

単位 千円

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他	
3. 図書館費	339,285	340,252	△ 967			318	338,967

節		説明	
区分	金額		
8. 報償費	275	○ 図書等購入費	70,537
		○ 視聴覚備品購入費	1,329
11. 需用費	22,118	○ 講習会等報償費	237
		○ 身体障害者図書貸出等関係経費	449
12. 役務費	12,923	○ 本館管理運営費	36,317
		電気・水道等使用料	6,733
13. 委託料	201,297	清掃冷暖房業務等委託料	14,084
14. 使用料及び賃借料	38,299	その他諸経費	15,500
		○ 常盤平分館ほか18分館運営費	3,600
18. 備品購入費	63,907	○ 本館・分館管理委託料	111,617
		○ おはなしキャラバン関係経費	66,962
19. 負担金補助及び交付金	466	事業委託料	65,774
		おはなしフェスティバル補助金	310
		その他諸経費	878
		○ 松戸親子読書会・子ども文庫連絡会補助金等	156
		○ 図書管理業務電算関係経費	48,081

松戸市総合計画

第2次実施計画(平成15~19年度)より

第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

[施策展開の方向]

第3節 次代を育む文化・教育環境の創造 (文化・教育分野)

- 第1項 生涯学習の推進
- 第2項 学校教育の推進
- 第3項 生涯にわたるスポーツ活動の支援
- 第4項 国際化の推進と平和意識の高揚
- 第5項 青少年の健全育成
- 第6項 多様な文化・芸術の創造

第1項 生涯学習の推進

[基本的な方向]

市民一人ひとりが、生きがいをもち、充実した人生を楽しむため、学びたいときに学べる場とシステムづくりを図り、知縁などを通じて生涯にわたって主体的に学び続けることのできる地域社会の創造を推進します。

そこで、総合的な生涯学習推進体制を整備し、生涯学習に関する情報提供・相談機能の充実を図ります。

[実施計画事業]

事業名	事業内容	担当課名
地域学習活動活性化支援事業	公民館主催講座の修了者及び講座生による市民自主企画講座の企画立案・講座開催を支援し、市民の学習意欲の向上と地域における学習活動の活性化を図ります。	公民館
図書館情報化推進事業	図書館の館外蔵書検索システムを導入し、インターネットによる図書館全蔵書の検索及び貸出予約ができるようにします。	図書館
生涯学習会館構想研究事業	市民の生涯学習を支援するための要となる生涯学習会館建設に向け、図書館、美術ホール、学習情報センター等の機能を含めた複合施設としての構想を研究・検討します。	生涯学習本部 企画管理室
大学との連携による生涯学習推進事業	市内にある大学と連携し、図書館をはじめとする学習情報提供の充実を図ります。	生涯学習本部 企画管理室